

足立区立第六中学校
校長 葛木 有紀 様

足立区立第六中学校
開かれた学校づくり協議会
会長 堤 貴央

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

生徒ものびのびと活動的に学校生活を送っている印象を受ける。保護者・地域も学校に協力的である。令和7年度の学習への取組みについては、全体的に前年度と同じか若干下がっている印象を受ける。「学校に行くのは楽しい」「勉強は大切だ」「学校の授業はわかる」など肯定的な数字が高く生徒たちは学校が好きだとうかがえる。問2の「勉強は大切だ」は7年度では91.2%と高い値を示している。しかし教科ごとの好きの問いには肯定的なパーセントが低いと感じられる。課題としては、「英語の学習が好き」が7年度では52.5%とかなり低く今後の向上に期待する。問22の「学校の授業以外に平日1日のおおよその学習時間」が35.0%とかなり低く、生徒たち自らが家庭での学習時間を増やしてもらいたい。

生徒たちが日々の学校生活の中で自発的に考え行動に移し、特別支援学級生徒と共に学校行事や学校生活を送ることで仲間意識の向上、共生・共助の社会への理解を深めていることは、生徒がやがて社会人となったときに理解し必ず役立つことであると思う、今後も継続して今まで以上のご指導をお願いしたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

保護者、町会・自治会、同窓会、開かれた学校づくり協議会は、保護者・地域として学校に関わり、学校を大切に考え、学校を誇りに思っている。協議会主催の「花いっぱい運動」や「あいさつ運動」「ペンキ塗り」にもたくさんの方々の協力を感謝しています。

運動会・文化祭などの学校行事に協議会及び保護者が参加できたことがうれしく思います。見学人数も増え、PTAの皆さんの負担もかなりの事だと思えます。今後は近隣小学校との連携活動も並びに、生徒と地域、教職員と地域、保護者と地域の円滑かつ積極的な関わり合いにより第六中学校を更に盛り立てて行く所存である。

3 その他

運動会や文化祭など学校行事で頑張っている生徒たちを見ると、私たちが嬉しく思います。大きな声を出し合って助け合い、支えあいながら行事に向かう姿勢は素晴らしと思います。これからも互いに尊重し助け合い、目標に向かって生き抜く力を持った社会人を輩出して行く第六中学校であってほしいと願う。